



国際ロータリー第2620地区

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

御殿場 ロータリークラブ 週報

第2625回 例会プログラム

- 例 会 場 / 東山荘講堂
- 開 会 点 鐘 / 12:30
- ローターソング / 我等の生業
- 内 容 / 年男大いに語る
神谷高義君 豊山 篤君 鎌野篤志君

会 員 慶 事

- 会員誕生日 / 3月23日 勝又 淳君



会 長 挨拶

白井良太



昨年12月以来、久しぶりの例会です。コロナの影響で御殿場ロータリークラブ始まって以来の重大事件でした。まだまだ安心できるような状況にはなっていませんが、これからもマスク、換気、密にならないなどを厳守して例会を開いていきたいと思えます。

休みの期間中に滝口喜徳様がお亡くなりになりました。寒い中、会員の多くの皆様が葬儀に参列され、ご苦労様でした。

滝口様は、昭和60年11月21日に当クラブに入会されました。以来35年の長きに亘りご活躍される中、理事、委員長を歴任され、平成22年に副会長、翌23年には会長を務められました。滝口様は、最

初御殿場高校に入学されましたが、途中、獣医師を目指すため田方農業高校に転校され、その後大学に進まれました。ご卒業後、御殿場農協に勤務された後、独立して御殿場動物病院を開業されました。葬儀では、息子さんも「父は『死ぬまで現役を貫く』とっていたので、本望だったと思います。」とご挨拶されていました。昭和20年4月生まれの75歳。早すぎる別れであり、つい先日まで毎週の例会に笑顔で出席されていたことが胸に残っています。とても残念です。合掌。

今日3月11日は東日本大震災が発生した日です。「災害は忘れた頃にやって来る」と言いますが、忘れずに東南海大地震に備えようと思えます。

例会が休会となっている間に、ロータリークラブは2021年の活動に入っています。RLIや会長エレクト研修セミナーなど日付が変わったり、最終的には全てWEBで行うことになり、次期会長幹事の苦勞が多くなりそうです。



会長挨拶用
QRコード

3/11の出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の確定出席率
55名	50名	49名	98.00%	100%

欠席者(1名)

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

新入会員 ご紹介

森田義彦君

よろしくお願いたします



ROTARY OPENS
OPPORTUNITIES

ロータリーは機会の扉を開く

次 回
3月25日の
例 会

- ★東山荘講堂
- ★12:30点鐘
- ★年男大いに語る 勝又 淳君
小野篤之様メッセージ 秋田 敬幹事

年男大いに語る



稲葉博之君

私は本年2月で7回目の干支になり、ロータリークラブ（以下、RC）入会後は4回目になります。前回の干支（12年前、2009年）に記念品としていただいた紅梅がまだ健在で、毎年花を咲かせています。梅の全般の花言葉は「上品」「高潔」「忠実」「忍耐」だそうです。今回も記念に紅梅をいただきましたが、「忍耐」強く12年後まで持たせますと、その時は2033年、私は96歳になっています。花言葉にあやかって、「忠実」に「忍耐」強く生きたいと思います。

さて、私のRC入会は1984年の2月23日です。2月23日と言いますと、天皇誕生日、富士山の日、そして遡ること1905年にはシカゴでRCが誕生した日でもあります。

私のロータリー歴は37年ですが、まだまだ分からない事ばかりです。我が国最初のRCを東京に創設した米山梅吉翁は「ロータリーの例会は人生の道場である」と語っております。人生の道場、すなわち修練の場と考え、自己研鑽を行うことができる場ではないかと思えます。人間の精神的持続には限りがあり、せいぜい1週間だと言われています。毎週1回例会に出席して親睦を重ね、各メンバーの良質な言動に接して自己改善を重ね、奉仕の心を形成していく場所が例会であると思えます。ロータリーの「親睦」は、単に一緒に酒を飲んだり、ゴルフをしたりすることではなく、「仲間同士の親交、連帯、友情」といった意識だと思えます。ロータリーは人生修養、人格涵養の道場であり、人間を作り、かつ友愛を育てるもの。ロータリーは学ぶものであり、教え、教えられるものではない。

会員相互のふれあいの中で、ロータリー精神の習得と人間的成長を図る。それが例会であると思えます。これからも私は心を磨かなければなりません。あと何年お付き合いできるか分かりませんが、努力するつもりです。よろしく願いいたします。

結びに私の好きな言葉を送ります。「例会なくして親睦なし。親睦なくして奉仕なし。」



小早川豊一君

コロナ禍で例会が休会となり、本来なら1月にお話しするところ3ヶ月が経ち、ようやくこの日を迎えることとなりました。ただ、「大変うれしいと思います」というよりも、ずっとプレッシャーをじわじわと掛けられていたような気がします。

丑年生まれだけに、私を「牛」に例えらるるなら、私は乳牛とか食用の牛ではなく、農業用で、田んぼを耕している牛ではないかと思えます。

私も記念に梅をいただきましたが、以前いただいた梅は白梅で、2メートルほどになりました。今回はピンクの紅梅でして、そろって大きくなれば良いなと思えます。

私は、世代的には戦後の丑年第一世代ということでございまして、今年生まれた人は第六世代の丑年ということになります。

厚生省が出している「厚生労働白書」を見ますと、2040年に65歳になる人のうち、女性の2割が100歳まで、男性も4割が90歳まで生きると推計され、正に「人生100年時代」が射程に入ってきているということです。

私も実業の世界を離れ、いわゆる“ご隠居生活”に入って10年が経ちました。何となく好きなことをして生活するようになってきている中で、昨年の8月に私の家の裏に蕎麦の実を植えました。そうしたら、ピギナーズラックと申しまししょうか、種を2kg蒔いて約4.5kgの収穫がありました。お蕎麦も「できたらいいな」というぐらいの感じていましたが、非常に甘くておいしいものができました。また今年も植えてみようかなと思っています。ただ、一人でやるのは大変なので、皆さん興味のある方がいれば一緒にやっていただければ嬉しいと思えます。



司会 久保田勇輝君



出席報告 菅沼良将君